

目次

第22回研究発表大会のお知らせ	1p	委員会報告	5p
日韓GIS国際シンポジウムのご案内	3p	初代副会長・枝村俊郎先生を追悼する	6p
代議員(社員)総会報告・理事会報告	3p	学会からののお知らせ	6p
2012年度決算・2013年度予算報告	4p	学会後援行事・事務局からののお知らせ	7p

第22回研究発表大会のお知らせ

大会実行委員会 委員長 貞広 幸雄

第22回地理情報システム学会研究発表大会は、2013年10月26・27日(土・日)、慶應義塾大学三田キャンパスにて開催されます。本年度も通常の研究発表(講演、ポスターセッション)に加え、多彩なセッション企画(シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッション、チュートリアルセッション、GIS技術紹介セッションなど)などのプログラムを予定しております。奮ってお申し込み下さい。

1. セッション企画

シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッション、チュートリアルセッション、GIS技術紹介セッションなど、特に形式は問いません。1セッション(約1時間50分)を単位とし、複数セッションにまたがることも可能です。

セッション企画につきましては、個人会員・賛助会員の方々からご提案いただけます。特に各分科会の方々につきましては、日常の研究成果を発表するまたとない機会ですので、積極的なご参加をお願いいたします。

発表申し込み手続き

下記のメールを、7月15日(月)までに貞広大会実行委員長(E-mail: sada@csis.u-tokyo.ac.jp)宛、お送り下さい。

セッション題名

セッションの種類(シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッションなど)

セッション企画者(代表者のみ)氏名、所属、メールアドレス

セッション概要(400字程度)

セッション枠数

必要機材(パーソナルコンピュータなど)

座席数

発表の可否は、7月31日(水)までに直接メールにてご連絡致します。なお、会場の設備等により、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。

2. 研究発表

講演発表とポスターセッション発表があります(梗概集はCD-ROM版のみの発行です)。

講演発表: 論文の提出が必要です。論文は、地理情報システムに関する理論研究・応用研究の成果で、原則として未発表のものに限ります。また、独創性・完結性がないものの発表は認めません。なお、セッションの最終発表者は、そのセッションの司会を務めていただきます。

ポスターセッション発表: 研究形成段階の討論や調査・活動報告などでも結構です。自由で活発な情報交換の場として活用ください。論文の提出は必須ではありませんが、提出された原稿はCD-ROMに収録されます。

講演発表、ポスターセッション発表共に、商業宣伝的な内容のものは認めません。機器展示あるいはGIS製品・利用例紹介セッションにお申し込み下さい。

応募資格

(1) どなたでも発表できます。但し、発表者または共同研究者(連名者)のうち、少なくとも1名は学会の個人会員(正会員または学生会員)である必要があります。また、賛助会員については、1口につき個人会員1名分の発表資格を有するものとみなします。

(2) 発表者となるのは、賛助会員枠を含めても1名につき1題に限ります。但し以下のような場合には、発表の重複が認められます。

- ・複数の発表について共同研究者(連名者)となること。
- ・同一題目で講演とポスターセッションの両方で発表を行うこと。

・通常セッションと、特別セッション(セッション企画)の両方で発表を行うこと。

(3) 大会発表会場において指定された日時に発表できること。発表日時指定は受け付けません。また、会場の都合により発表総数を制限する場合があります。

(4) 2013年度までの年会費完納者

発表申し込み手続き

1. アブストラクトの提出

7月1日(月)～7月15日(月)正午(必着)の期間内に、以下からお申込みください。

<https://www.easychair.org/account/signin.cgi?conf=gisa2013>

※利用方法については、大会HPに説明書を挙げてあります。※記入された氏名と論題が、そのままニューズレター及び大会HPのプログラムとCD-ROMに掲載されます。7月16日以降の修正は一切受け付けませんので、予めご了承下さい。

・発表の可否は、7月31日(水)までに学会HPに掲載されるプログラム(予定案)及びアブストラクトにてご確認下さい。個別のご連絡は行いませんのでご注意ください。

2. 講演論文集用原稿の提出(例年より提出日が早い)にご注意ください)

7月1日(月)～8月30日(金)正午(必着)です。

【Easy Chair宛に提出】

(1) 発表論文原稿(PDF)

作成要領については、HP掲載のテンプレートファイルをご活用下さい。

【学会事務局宛に郵送】

(1) 上記の発表論文原稿を打ち出したもの(両面印刷、左肩をホチキス止め) 1部

(セッション司会者に事前送付するため)

ただし、**大会優秀発表賞の審査対象希望者は審査員用として、2部送付のこと)**

(2) 著作権譲渡契約書(直筆の署名が必要)(HP掲載の書式をご覧下さい)

・CD-ROM作成の日程都合上、上記受付期間より遅れて到着した原稿は一切受け付けられません。発表申請を取り消させて頂きますので、予めご了承下さい。

・MS-Wordなどを用いて作成した原稿のPDF化に関してはHPを参考にしてください。フリーソフトも紹介されています。なお、PDFの品質は、そのまま印刷に耐えるレベルのものをお願いいたします。

・使用言語は日本語または英語とします。

・原稿の仕上がりサイズはA4版、4ページとします。

・発表者に連絡がつきにくい可能性がある場合は、申込書に確実な連絡先も明記してください。原稿の不備等で連絡を差し上げる場合があります。

・発表原稿の編集・出版の権利は、地理情報システム学会に帰属します。

大会参加費(講演論文集のCD-ROM代金を含む)

正会員または賛助会員卒の参加者 : 事前登録3,500円(当日受付4,000円)

学生会員 : 事前登録3,000円(当日受付4,000円)

非会員(一般および大学生以上) : 事前登録6,000円(当日受付6,000円)

高校生以下、70歳以上 : 無料(必ず年齢を証明するものをご呈示ください)

懇親会参加費 : 5,000～6,000円程度(未定)

(会場は慶應義塾大学南校舎「ザ・カフェテリアA」)

・事前登録、当日受付とも、領収書を発行いたします。

事前登録について :

大会HPの「事前登録申込書」に必要な事項をご記入の上、代金を振り込んで学会事務局まで申込書をFAXにてご送信下さい。

予約締切は、9月15日(水)です。

※期日までに入金が確認されない場合、事前受付はキャンセルとなります。

※大学周辺に飲食店が多いため、今回はお弁当のご案内はありません。

3. 第9回大会優秀発表賞

学生会員の発表レベルの向上を図る目的で、本年度も「大会優秀発表賞」を設けます。以下の条件を満たす方が対象となります。

・本学会の学生会員であること(2013年7月15日までに事務局に入会届が到着した方を含みます。但し、2013年度までの年会費完納者)

・修士号未修得であること(但し社会人学部生、社会人大学院生を除く)

・講演発表の発表者であること

受賞候補者は、研究(論文)内容、発表技術の優秀者からセッション司会者が推薦し、学会賞委員会の中に設置される大会発表賞小委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

尚、発表受賞者には、賞状を後日送付すると同時に、GISAニューズレター88号に所属・氏名を発表します。

4. 機器展示

展示内容 : パソコンまたはワークステーション上で稼動するGISのデモソフトとします。

応募資格 : 学会賛助会員に限ります。出展費用は無料です。

応募要領 : 以下の内容を明記の上、E-mailにて事務局にお送りください。

①会社名(所属) ②連絡先電話番号、E-mail ③担当者名
④展示ソフト名称 ⑤展示概要(200字程度。ニューズレターや会場配布のパンフレット及び大会HPに掲載します)

⑥必要電源の個数

受付期間 : 7月1日(月)～8月31日(土)

※ 7月31日(水)までの受付分は、展示概要をニューズレター87号に掲載します。

(それ以降の受付も、会場配布のパンフレット及び大会HPには掲載されます)。

出展の可否 : 9月23日(月)までに機器展示要項と共にE-mailで通知します。

※ 会場の都合により、各日の展示件数及び、1社当たりの機器構成(電気容量)について事務局が調整することがあります。

す。

【日韓 GIS 国際シンポジウムのご案内】

日韓相互訪問をしている韓国 GIS 学会 (KAGIS) との共同シンポジウムは、今年は韓国・済州島で開催されます。奮ってご参加ください。

会期：2013 年 10 月 30 日 (水) ～11 月 1 日 (金)

会場：RAMADA PLAZA JEJU HOTEL

<https://www.ramadajeju.co.kr/JPN/>

《国際セッション》

2013 年 10 月 31 日 (木)

※発表時間は一人 20 分 (英語) です

※昼食は先方で用意されます

《ポスターセッション》

A0 サイズで出力したものを、発表当日にご持参ください。

(郵送も可能ですが、その場合は要連絡)

※フロアでの発表はありません

※セッション時間内の質疑応答には対応してください

《懇親会》

2013 年 10 月 31 日 (木) 夕方より

※GIS 学会員は御招待

会場：RAMADA PLAZA JEJU HOTEL

《巡見》

大会終了時に、KAGIS 会員である山林庁の協力ですりょニ(森)のコースを歩く機会を設けています。一般に非公開のコースも案内されるそうです。ご希望の方はぜひご参加ください。詳しくは学会 HP をご覧ください。

発表申込：2013 年 7 月 31 日 (水)

申込方法：学会 HP の word ファイルに必要事項を記入の上、GISA 事務局にメール添付で提出

講演論文提出期限：2013 年 9 月 30 日 (月)

提出方法：PDF 化した論文 (英文/A4/4 頁) を

GISA 事務局にメール添付で提出

【代議員(社員)総会・理事会報告】

■一般社団法人地理情報システム学会第 7 回社員総会 [事務局長 巖網林]

開催日時：平成 25 年 5 月 26 日 14 時 30 分～16 時 00 分

開催場所：東京都文京区本郷 7 丁目 3-1

東京大学工学部 14 号館 141 号室

出席者：24 名

議事

・開会

14 時 30 分に浅見会長が議長として開会を宣言した。次の通り社員の出席があったので、本社員総会が適法に成立した旨を告げた。

議決権のある当法人社員総数 47 名 (議決権の数 47 個)

出席社員数 23 名 (議決権の数 23 個)

代理出席社員数 1 名 (議決権の数 1 個)

書面による議決権の行使数 11 名 (議決権の数 11 個)

出席代表理事 浅見 泰司

出席理事 浅見 泰司, 太田 守重, 小荒井 衛,
小口 高, 巖 網林, 関根 智子,
玉川 英則, 寺木 彰浩, 矢野 桂司
出席監事 吉川 眞

審議事項

・第 1 号議案 2012 年度事業報告について
巖事務局長より 2012 年度に実施した事業を配付資料に基づき説明した。討論の後、満場一致で承認された。

・第 2 号議案 2012 年度決算と会計監査について
小口財務担当理事より 2012 年度財務諸表などを配付資料に基づき説明した。引き続き吉川監事より監査内容を説明した。討論の後、満場一致で監査結果は承認された。

報告事項

・報告 1 2013 年度事業計画及び予算について
巖事務局長より 2013 年度事業計画について配付資料に基づき報告した。引き続き小口財務担当理事より予算計画を報告した。

・報告 2 選挙のスケジュールについて
2014, 2015 年度代議員, 理事, 監事選挙のスケジュールについて、事務局より説明があった。

・その他

地方における GISA 資格認定活動の支援, 定点退職者の学会活動支援について、意見を交換した。

感謝状贈呈式

学会運営に多大な貢献をされた国際航業株式会社に対し、浅見会長より代表取締役社長土方聡様に感謝状を贈呈した。同様、学会運営に多大な貢献をされた ESRI ジャパン株式会社に対し、浅見会長より代表取締役社長正木千陽様に感謝状を贈呈した。(6, 7 ページに関連記事)

・閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が 16 時 00 分に本社員総会の閉会を宣した。



社員総会の様子

■一般社団法人地理情報システム学会第28回理事会 [事務局長 巖網林]

開催日時：平成25年5月26日13時00分～14時20分
開催場所：東京大学工学部14号館1階141教室
出席者：浅見、矢野、巖、小荒井、関根、玉川、寺木、小口、太田、吉川（監事）
欠席者：柴崎、大佛（監事）

議事

- ・開会
- 定刻13時00分に浅見泰司会長が議長を務め、開会を宣言した。次の通り過半数を超える理事の出席があったので、本理事会が定足数を満たし有効に成立した。
- 理事総数10名
出席理事数9名
- ・報告事項
- 1. 職務執行状況について
財務
小口財務担当理事より年度決算報告書の準備報告があった。
- ・渉外・大会関係
- ・渉外・大会について、玉川担当理事より報告が行われた。JpGU第8回学協会会議の報告（次年度大会予定、英文ジャーナル発刊進捗状況等）、同環境災害対応委員会の委員交代（目代邦康様→後藤真太郎先生）等の報告があった。学術大会について、今年度大会は慶應義塾大学三田キャンパスで10月26日（土）、27日（日）に開催予定。
- ・KAGISとの交流事業について、今年は日本側が副会長を中心に訪韓する年。矢野副会長を団長に3名以上の団員を引率して出席することになった。10月31日（水）、11月1日（木）、2日（金）に開かれる予定。投稿締め切りは7月31日。参加旅費は参加者自己負担とする。
- ・次年度学術大会開催地について、中部大学福井弘道先生のところで開催を検討中。候補日は2014年11月7日（金）、8日（土）、中部大学春日井キャンパス。
- ・JST査読システムへの参加は、毎号投稿本数50本以上が条件。この条件をどうクリアするか、検討した。講演論文集の本数を計上するか、分科会に特集号を企画させるか。次回投稿論文の数をもって再度検討することにした。
- 2. 次回選挙のスケジュールについて
- ・事務局より2014、2015年度の代議員、理事、監事を選出するスケジュールを提示した。議論の結果、了承した。
- 3. 京都IGU会議における学会紹介、展示について。
- ・矢野副会長より2013年京都地理学会議の準備状況について報告があった。地理学関連学会に展示スペースを提供する。本学会からも英語パンフレット、ポスター、『理論と応用』の最新号を提供するという要請があった。またJpGUブースにも展示物が置ける。各種資料200部用意することにした。
- 4. 事務局より入退会動向を報告した。

審議事項

第1号議案 2012年度事業報告について
巖事務局長より配布資料に基づき2012年度事業報告を行った。審議した結果、承認を得た。

第2号議案 2012年度決算と会計監査について
小口財務担当理事より配布資料に基づき2012年度決算報告書を報告した。吉川監事より監査報告を報告した。審議した結果、承認を得た。

第3号議案 2013年度事業計画と予算について
巖事務局長より2013年度事業計画を説明した。引き続き小口財務担当理事より2013年度予算計画を説明した。審議した結果、承認を得た。

第4号議案 選挙管理委員長の選出について
代議員選挙管理規程より、選挙管理委員長の条件を確認し、候補者を検討した。事務局より打診することにした。

その他

- ・第29回理事会の開催日：2013年7月28日13～15時に決めた。
- ・巖事務局長よりリモートセンシング学会中心に進めている「今後の宇宙開発のあり方に関する検討会」に参加する件について、メールベースの審議を経て、本学会として正式に参加することになったことを報告した。また5月24日に同検討会の会合に出席したことを報告した。本学会の対応について今後具体的に検討することにした。

閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が14時20分に本理事会の閉会を宣した。

【2012年度決算・2013年度予算報告】

■2012年度決算・2013年度予算報告 [財務担当理事 小口 高]

2012年度の決算は7,247,619円の黒字となりました。この背景には、会費の値上げ、資格認定協会の収入の増加、および手弁当で学会運営を支えていただいた多くの方々のご協力があります。最近では会員数が頭打ちで、長期的には予断を許さない状況にあるといえますが、お陰様で当面の運営には大きな問題がない状況となっております。

2013年度の予算は、基本的には昨年度までと同様の構成になっておりますが、一つ大きく異なる点は資格認定協会への支出の増加です。2012年度に資格認定協会の収入が大幅に増えた背景には、同年度の末までは経験達成度（GISに関する実務経験）に基づく既得権申請によりGIS専門技術者の認定をうけることが可能であったことがあります。このため例年よりも非常に多い申請があり、申請・登録費の収入も増えました。この増加は一時的なものと言えますが、資格認定協会の活動は今後も非常に重要ですので、2013年度には前年度に増えた収入を活用し、活動をアピールしつつ今後のさらなる発展を目指すための行事を行うことになりました。

学会の基盤となる学会費収入につきましては、自動引き落とし制度を導入するなど安定化を試みておりますが、引き落としの対象となる口座の残額不足や、振込用紙を用いた支払いが大幅に遅れるといった状況も生じております。会員の方々のご協力が不可欠ですので、よろしくお願ひします。また、予算を有効に活用し、学会の魅力をさらに高めるような具体的なご提案があれば、ぜひ学会にお寄せ下さい。

育における GIS 教育の啓蒙を行うものです。詳細は、近日中に学会 HP などを通じて広く告知いたします。

【初代副会長・枝村俊郎先生を追悼する】

【地理情報システム学会前会長 吉川 眞(大阪工業大学)】

本学会の初代副会長で顧問を務められた枝村俊郎先生が去る4月17日にご逝去されました。功なり名遂げられた先生であれば、然るべきご葬儀が営まれるところですが、当日は神戸大学時代の講座出身のごく限られた方々のみ参列された、いわゆる「家族葬」のようなスタイルであったとのこと。先生ご自身が生前に望まれていて、ご遺族がそれを尊重された結果と伺いました。何事にも恬淡とされていたお人柄を偲ばせるご葬儀であったにちがいません。そこで、ご遺族のお気持ちを汲んで、浅見会長とも相談した結果、形式的になりがちな学会の直接的な対応は慎むこととし、枝村先生と些かなりとも交流のあった者として、先生との個人的な関わりをご紹介しますことで、追悼の辞に替えさせていただこうと考えました。

私が初めて先生に親しくお目に掛かったのは、それほど昔というわけではなく1995年の11月でした。先生が私的に神戸で開催された「都市計画へのコンピュータ応用」に関する国際ワークショップに招かれたときでした。たまたま、同じ年の1月に他学会のシンポジウムで発表した私の研究が先生の目にとまり、同じ学園(当時の学園名称は学校法人大阪工大摂南大学)に勤めているというご縁で招かれたわけです。このワークショップには、先生もボードメンバー(役員)を務められていた International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management(CUPUM)の役員(5名)も海外から招かれていて、日本人研究者と合わせて総勢でも18名程度が2日間集中したプレゼンテーションとディスカッションを行ったことを覚えています。くわえて、最終日(3日目)には建設中の明石海峡大橋と姫路城へのツアーもありました。私にとっては、このワークショップに参加することで、以後、親しくお付き合いさせて頂くことになる方々を多数知ることができました。なお、同年1月の神戸淡路大震災がなかったならば、このような私的なワークショップではなく、CUPUM そのものの第4回を枝村先生が神戸で開催されていたはずであったとも伺っています。

その後、先生の研究室(摂南大学)と私の研究室(大阪工大)の間で、相互に訪問しそれぞれの研究を発表するといった交流を、先生が摂南大学を退職される1999年3月まで重ねてきました。1997年には、インドのムンバイで行われた第5回のCUPUMにもご一緒させていただき、学会終了後、先生曰く「大名旅行とはいかないまでも、小名旅行くらいのもの」で、インド国内を二人で巡り、かなりの珍道中を繰り広げました。この顛末については、先生がご自身のホームページに「インド旅行記」として掲載されたので、私も多くの方々から反響を頂戴することになりました。摂南大学をご退職後、1999年秋のベニス(第6回)行きで、CUPUM参加を最後とされましたが、私は個人的な事情でベニスに行くことができず、先生と一緒にイタリア珍道中ができなかったことが悔やまれます。

枝村先生にお誘いいただいたCUPUMには、その後、2001年ホノルル(第7回)、2003年仙台(第8回)、2005年ロンドン

(第9回)、2007年ブラジル・イグアス(第10回)、2011年カナダ・レークルイーズ(第12回)と、新型インフルエンザ騒ぎによる休講のしわ寄せで参加できなかった2009年香港(第11回)を除いて毎回参加してきました。今年も7月にオランダ・ユトレヒト(第13回)に、摂南大学での枝村先生の後任に当たる熊谷先生とご一緒することになっています。このように、枝村先生との交流の中から、さまざまな人々との出会い、また貴重な機会を得ることができました。実際に先生と親しくさせていただいた期間はほんの数年間ではありませんが、先生との出会いがなければ、私の研究生活は今とはまったく異なったものになっていたにちがいません。

先生に最後ににお目に掛かったのは、2010年3月に九段会館で開催されたGIS名誉上級技術者の称号贈呈式でした。枝村先生をはじめ、歴代の副会長・会長を務められた諸先生に称号が贈呈される際に、私自身が学会の副会長としてお祝いを述べる機会を得たこと、とくに枝村先生には個人的な祝辞を呈することができたことは望外の幸せであり、また不思議なご縁であったと、今更ながら感じ入っております。

枝村俊郎先生、ありがとうございました。

合掌

【学会からのお知らせ】

■感謝状贈呈式

去る5月26日に開催された第7回社員総会において、当学会にボランティアとして長年多大な貢献をされた以下の2社に、浅見泰司会長より、感謝状が贈呈されました。

<国際航業株式会社>

人文地理学会、日本国際地図学会、日本地理学会、日本リモートセンシング学会およびGITA-Japanとの連携の下で運営しているGIS資格認定協会の事務局を、発足以来、お引き受けていただいています。

贈呈式には、代表取締役社長土方聡様にお越しいただきました。



感謝状贈呈式 国際航業株式会社様

< ESR I ジャパン株式会社 >

2011年度まで、広報委員会をお引き受けいただきました。
贈呈式には、代表取締役社長正木千陽様にお越しいただきました。



感謝状贈呈式 ESR I ジャパン株式会社様

■2013年京都国際地理学会議 (IGU2013)のご案内

「地球の将来のための伝統智と近代知」をメインテーマに掲げ、学会発表や展示、国内外の巡検も予定されています。当学会が運営するジョイント・セッションのほか、地理情報科学や地理システム・モデリングのコミッションのセッションなど GIS や地理情報科学と関連が深いセッションも多数開催されます。

会期：2013年8月4日(日)～9日(金)
会場：国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）
参加登録：標準/～2013年7月3日(水)
当日/2013年7月4日(木)以降
ガラ・ディナー：8月7日(水) 18:30 開宴

※要会議登録

URL：http://www.igu-kyoto2013.org/

なお、同時に開催される市民公開講座は、日本語で行われ、事前登録なし（無料）です。あわせてご参加ください。

会期：2013年8月4日(日) 10:30～
会場：京都大学百周年時計台記念館大ホール
(京都市左京区吉田本町)
※メイン会場とは場所が異なります

詳しくは公式 Web サイトの日本語頁…

http://oguchaylab.csis.u-tokyo.ac.jp/IGU2013/jp/index.html

会議全体に関する、ご質問・ご意見は…
info.igu.kyoto2013@gmail.com

■2013年度学会賞募集 (既報)

[学会賞委員会委員長 関根智子]

毎年、秋の研究発表大会で表彰が行われる「地理情報システム学会学会賞」5部門（研究奨励、学術論文、ソフトウェア

ア、教育、著作）の応募受付期限が、近付きました。いずれも自薦、他薦は問わず、またグループも対象となる部門もあります。

締切は、7月15日(日)です。ホームページで詳細を参照の上、奮ってご応募ください。

http://www.gisa-japan.org/awards/index.html

■学会共催イベントのお知らせ

◀ 空間情報シンポジウム 2013 ▶

主催：株式会社インフォマティクス

会期および会場：

2013年7月10日(水) 東京

7月19日(金) 大阪

7月23日(火) 名古屋、札幌、仙台、広島、福岡、高松
詳しくは…

http://www.informatix-inc.com/top/sympo2013.html

【事務局からのお知らせ】

■変更届等について

就職、転職、所属や自宅の場所が変わった等々の場合、速やかに変更届をご提出ください。変更はオンラインで出来ます。

https://www.gisa-japan.org/member/login.php

■学会ホームページやメールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会ではイベントや公募等のお知らせを、ホームページに掲載する他、個人会員向けメールニュースでも配信しています。学会ホームページのトップページでもご案内していますので、そちらを参照の上、事務局までお申込み下さい。現在、掲載料等は無料です。

http://www.gisa-japan.org/news/request.html

また、フェイスブックやツイッターでもご案内することができます。こちらはもう少し肩の力を抜いたものです。掲載ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

■会議の場所をご提供します

分科会 (SIG)、委員会、支部など、学会活動に関する事で会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の10:00～17:00

注意：インターネットのご利用は出来ません

今年も大会ではポスターセッション賞を設けます。
多数の参加をお待ちしております。

2013年5月末現在の個人会員 1260名, 賛助会員 66社

賛助会員

(2口)NTTタウンページ(株)

(1口)アイエニウェア・ソリューションズ(株), アクリーグ(株), 朝日航洋(株), アジア航測(株), いであ(株), (株)インフォマティクス, ESRIジャパン(株), 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術(株), 大阪土地家屋調査士会, オートデスク(株), (株)オオバ, (株)かんこう, 関東甲信越東海GIS技術研究会, (財)岐阜県建設研究センター, 九州GIS技術研究会, 協同組合くびき野地理空間情報センター, 近畿中部北陸GIS技術研究会, (株)こうそく, 国際航業(株), 国土情報開発(株), (株)古今書院, 寿精版印刷(株), GIS総合研究所いばらき, (株)GIS関西, ジェイアール西日本コンサルタンツ(株), (株)JPS, (株)ジオテクノ関西, (株)ジオプラン, (株)昭文社, (株)ジンテック, (株)数理システム, (株)ゼンリン, (株)谷澤総合鑑定所, 玉野総合コンサルタント(株), 中四国GIS技術研究会, テクノ富貴(株), 東北GIS技術研究会, (株)ドーン, 内外エンジニアリング(株), 長野県GIS協会, にいがたGIS協議会, 日本エヌ・ユー・エス(株), 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパーマップ(株), (財)日本測量調査技術協会, 日本土地家屋調査士会連合会, (財)日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ(株), (株)パスコ, 東日本総合計画(株), 北海道GIS技術研究会, (株)マップクエスト, (株)松本コンサルタント, 三井造船システム技研(株), (株)三菱総合研究所, 三菱電機(株), ヤフー(株), (財)リモート・センシング技術センター
自治体会員: (1口)大阪府高槻市役所, 大阪府豊中市役所, 経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- 自治体: 青木 和人 (京都府宇治市)
事務局: 浅野 和仁 (大阪府富田林市 Tel 0721-25-1000)
E-mail: helicobacter_ysfh@hera.eonet.ne.jp
- ビジネス: 高阪宏行 (日本大学 Tel 03-3304-2051)
E-mail: kohsaka@chs.nihon-u.ac.jp
- 防災GIS: 畑山満則 (京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333)
E-mail: hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
- 土地利用・地価GIS: 碓井照子 (奈良大学)
事務局: 西端憲治 ((株)セイコム Tel 0721-25-2728)
E-mail: totiriyo-sig@seicom.jp
- 時空間GIS: 吉川耕司 (大阪産業大学 Tel 072-875-3001)
E-mail: yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp
- 地図・空間表現: 森田 喬 (法政大学 Tel 0423-87-6270)
E-mail: morita@k.hosei.ac.jp
- セキュリティSIG: 川添博史 (特定非営利活動法人GIS総合研究所)
事務局: 国司輝夫 (特定非営利活動法人GIS総合研究所 Tel 06-6464-7077)
E-mail: info@gissoken.org
- 自律分散アーキテクチャ: 藤田晴啓 (新潟国際情報大学 Tel 025-239-3753)
E-mail: fujita@nuis.ac.jp
- FOSS4G分科会: Venkatesh Raghavan (大阪市立大学)
連絡先: 嘉山陽一 (朝日航洋(株) TEL.049-244-4032)
E-mail: youichi-kayama@aeroasahi.co.jp

地方支部の連絡先一覧

- <北海道支部>
支部長: 北海道大学 橋本 雄一
Tel: 011-706-4019, E-mail: you@chiri.let.hokudai.ac.jp
- <東北支部>
支部長: 岩手県立大学 阿部 昭博
Tel: 019-694-2562, E-mail: abe@iwate-pu.ac.jp
- <北陸支部>
支部長: 新潟大学 牧野 秀夫
Tel: 025-262-6749, E-mail: makino@ie.niigata-u.ac.jp
- <中部支部>
支部長: 名古屋大学 奥貫 圭一
Tel: 052-789-2233, E-mail: nuki@lit.nagoya-u.ac.jp
- <関西支部>
支部長: 大阪工業大学 吉川 眞
連絡先: 田中 一成 (大阪工業大学)
Tel: 06-6954-4293, E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp
- <中国支部>
支部長: 広島工業大学 岩井 哲
Tel: 082-921-5486, E-mail: s.iwai.i5@it-hiroshima.ac.jp
- <四国支部>
支部長: 香川大学 野々村 敦子
Tel: 087-864-2146, E-mail: nonomura@eng.kagawa-u.ac.jp
- <九州支部>
支部長: 九州大学 三谷 泰浩
Tel: 092-802-3399, E-mail: gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
- <沖縄支部>
支部長: 琉球大学 宮城 隼夫
E-mail: miyagi@ie.u-ryukyu.ac.jp
連絡先: 有銘 政秀 ((株) ジャスミンソフト)
Tel: 098-921-1588, E-mail: arime@jasmisoft.co.jp

■ 編集後記 ■

2013年度はじめてとなる第86号ニューズレターでは、代議員(社員)総会報告や2012年度決算・2013年度予算報告と共に、2013年度の第22回研究発表大会のお知らせを大きく報じています。

編集を行いながら、また、今年度も研究発表大会でどのような取り組みをするのか、みんなと企画を考える楽しい季節がやってきたという思いです。

私事で恐縮ですが、昨年の研究発表大会では、自治体分科会として地方自治体職員さんを中心にして、産官学の多様な方々においでいただき、特別セッションを行いました。今年度も、産官学の多様な方々が集うことのできる地理情報システム学会の特徴を生かした特別セッション開催に向けて動き出したいとワクワクしながら思っているところです。

(青木和人 (宇治市))

地理情報システム学会ニューズレター

第86号 ●発行日 2013年6月25日

■ 発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: <http://www.gisa-japan.org/>

■ 弥生雑記 ■

数年前のこと。仲間と古典文学の解説をした本が出版された。「今月の新刊」として書店に平積みされた文庫本を母に1冊贈ると、その喜ぶまいことか! 編集協力という形だったので娘の名前が表に出ているでも無いのに、近所の本屋に大量に注文を出し、親戚に配り、知己にも宣伝していた…ということ、後日伝え聞き、恥ずかしさに妙な汗がどっと流れた。一方、成績も生活態度も良いことが普通(だから私は褒められた記憶が無い)、という方針の母の喜びようは意外で、でも、これまで書いた論文を見せたことが一度も無かったことにも思い当たった。反省してその後、自分の論文が掲載された研究誌は欠かさず贈ることにしている。(読んでいる気配は無いが)

年2回発行の『GIS-理論と応用』を手にすると、そのときのことを思い出す。そして、執筆者の社会的地位がどんなに高くても、何歳であっても、出来ることなら親御さんに見せてあげて欲しいな、と思うようになった。たとえ専門性が高くても内容は理解できなくても、子供が社会に刻む足跡を、嬉しいと感じない親御さんはいないだろうから… (学会事務局)